

パブリック・サービス研究分科会 2009年7月例会 「学生サービスとしての大学図書館員のあり方（仮）」研究グループ報告書	
日時	2009年7月13日(月) 13時00分～14時30分
場所	慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス
記録	川端(多摩大学)
参加者	北原(相模女子大学)、内藤(学習院大学)、寺久保(東海大学)、小松(東京家政学院大学)、川端(多摩大学)、小松(日本赤十字看護大学)、西嶋(東京農業大学)、矢ヶ崎(成城大学)、他1名

進捗状況

「学生サービスとしての図書館員のあり方」のチームに「場としての図書館」チームが加わり合計9人のグループになった。

図書館員として、自身がスキルアップするために何をすべきか各自が認識を深めるために、パブリック・サービス研究分科会のメンバー全員でアンケートをとり、それらを基に各自で研究していく方向で進めて良いか、加藤先生の相談したところ、SAについての研究に重点を置いた方がよいとアドバイス頂いた。

そこで研究テーマを『図書館員のスキルアップ』から加藤先生のお話にもあったSAについて進めていく方向になった。

また、次回までに文献調査担当は関連論文を読み込み、事例調査担当は海外の図書館を経験した図書館員に取材を行い、それぞれの研究結果を合宿で発表することとなった。

以上